

阿蘇中クリーン大作戦

八千代市立阿蘇中学校部長会

小林怜央・小久保憲・大多和ともみ・中川峻徳・飯島沙織

皆さんこんにちは。私たちは阿蘇中学校部長会の、小久保、大多和、中川、飯島、小林です。よろしくお願ひします。

小林) 今回、私たちは阿蘇中クリーン大作戦と銘打って、放課後に自分たちの通学路をきれいにするために、1～2年生145名でゴミ拾いを行いました。この活動は、毎年部長会が中心となって愛校デーに実施しており、今年で2年目となります。そして今回は先生方をお願いして、地域の人と一緒にすることができないかを提案しました。すると先生方がすぐに地域の方々と連絡を取って下さり、民生委員さんや補導委員さん、地元警察の方まで参加して下さい、今までで一番大規模に実施することができました。活動は通学路を2コースに分けて、それぞれのコースを部活動ごとに分担場所を決めてきれいにしました。その時の様子が、取材に来ていたJCOMに放映されました。その時のビデオがありますのでご覧下さい。(ビデオ放映～)

いかがでしたか？では、小久保くん、私たちが行ったクリーン作戦の目的を述べて下さい。

小久保) 僕たち部長会は、自分たちの通る通学路が汚れていることに気づき、一人でも多くの生徒が気持ちよく登下校できるようにゴミを拾うことを呼びかけました。また、そのような活動を僕たち中学生が行っているということ、少しでも多くの地域の方々に知ってもらうために、今回は先生方に頼んで、できる限り多くの人々にも参加してもらえよう提案しました。

ありがとうございます。では、大多和さん、やってみた感想はどうでしたか？

大多和) いざ、軍手とゴミ袋をもちゴミ拾いを始めてみると、あまりのゴミの多さにびっくりしました。用意したゴミ袋では足りずに、学校に取りに帰ったくらいです。粗大ゴミやタバコの吸殻など、捨てている人は一体何を考えているのだろうと、腹の立つ思いもしました。でも、中には私たち子どもが捨てたと思われるお菓子の袋などもありました。私たちも、マナーについてもっと気をつけなければならないなど、反省の心も芽生えました。また活動に気づいて、ごろうさまや、ありがとうございますと声をかけてくださる方もいて、とてもうれしい思いもしました。

ありがとうございます。では、中川君、今後阿蘇中ではどのような活動をしていきますか？



中川) 僕たち阿蘇中は今後もこのような活動を続けて行きたいと思います。今回の活動は、地域新聞にも取り上げていただき、大変な反響でした。学校の評判が上がり、とてもうれしかったです。この活動を通して阿蘇中生のマナーがさらに上がり、僕たちの地域がどんどんきれいになればいいなと思っています。

ありがとうございます。では、最後に飯島さん、この里山シンポジウムに参加できたことに対してどう思いますか？

飯島) 今回この会に参加できたことを、心から光栄に思います。実は、この会に参加するまで里山について意識することはありませんでした。しかし、考えてみると私たちの阿蘇中の周りには、八千代市の中でも一番とっていいほど自然が残されています。それらを大切にしなければならないと改めて感じさせられました。といっても、私たち中学生ができることは限られていると思います。まず、今回ここに参加できたことを、学校に帰って全校生徒に報告し、それを皆で学習して今後の活動に役立てたいと思います。

ありがとうございました。これで阿蘇中学校の発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。

司会：小西由希子

阿蘇中学校のみなさん、本当にありがとうございました。元気な活動をわかりやすく説明してもらいました。そして里山シンポジウムに出たことで、里山について考えるようになったと言って頂いたことは、とてもうれしい言葉でした。こうして子どもたちと一緒に私たちもやっていけたらと思います。